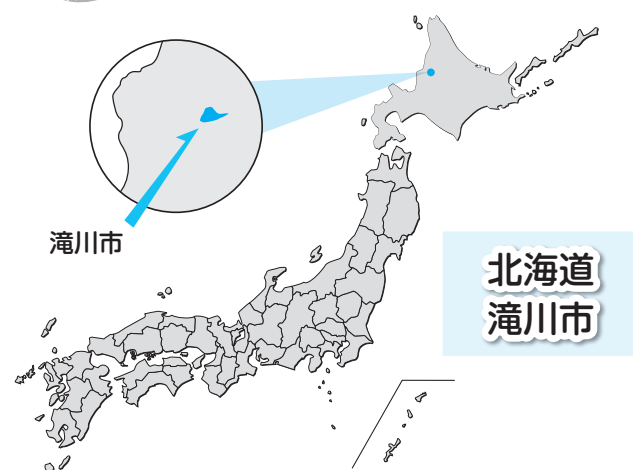


私のふるさと



仁井田
小橋 由美 さん



私は父の仕事の都合で、いろいろな土地で暮らしてきましたが、一番長く住んでいた街をご紹介します。そこは北海道の滝川市で、札幌から80kmほど北東にあり、人口は4万人ほどの、のどかな所です。

古くは、周辺の石炭産業に支えられた商業の町として栄えてきました。現在の基幹産業は農業ですが、観光にも力を入れ、全国有数の作付面積を持つ菜の花畑は、CMや映画などでも使われる観光名所の一つです。

旭川や富良野などの有名観光地も近く、どこへ行くにも便利で、よくドライブに出掛けていました。

冬は、除雪作業に苦しみ日が3カ月ほど続く、道内でも有数の豪雪地帯で、一晩の積雪量が1m以上になり、朝家を出る時に雪でドアが開かないこともありました。道路はツルツルのボコボコなので、常に緊張して運転していましたが、それも良い思い出で、須賀川での快適な冬の生活に慣れた今は、懐かしくもあります。

北海道に遊びに行くことがありましたら、普段経験できない冬をおすすめします。滝川では2月に冬祭りが開催されているのでぜひ行ってみてください。ただし、室内はかなり暖かいので着ていく物に気を付けてください。



サークルとわたし



食と暮らしのサークル「はじまりのたね」

代表者 佐久間 美歩
会 員 14人
発足年月 平成30年3月
連絡先 ☎090-2535-1944(長谷部)
活動日 月1回(平日)
活動場所 tetteなど

食と暮らしのサークル「はじまりのたね」は、心と体の好調を目指して、「食」と「暮らしの知恵」を学ぶサークルです。

メンバーの多くが子育て中のお母さんたちで、これまで梅干し漬けやキムチ作り、麴を使った調味料作り、米粉のおやつ作りなどを、栄養士の先生や地域の先輩お母さんを招いて学んできました。また、去年は自分たちで大豆を育てて味噌作りに挑戦した「手前味噌プロジェクト」を行いました。

「食べることは生きること」昔ながらの丁寧な暮らしを大切に、お互いに持っている食の知識や情報を交換しながら楽しく活動しています。随時メンバーを募集していますので、気軽にお問い合わせください。



育てた大豆と麴を混ぜます

tette 情報

tetteの各施設は、新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえて、新しい生活様式などに基き段階的に再開しています。詳しくは、tetteホームページでご確認ください。

■ tetteスクールなど 市民交流センター ☎(73)4407

tetteライブラリーシアター

- ▶ウルトラマン 7月18日(土) 午前10時～11時
- ▶銀河鉄道の夜 7月18日(土) 午後6時～7時

アンブレラスカイ

tette通りの“空”に、たくさんの傘の花が咲いています。
※7月15日(水)まで



感染症対策を取りながら、順次講座を再開しています。参加するときは、感染防止にご協力をお願いします。

■ 図書館だより 中央図書館 ☎(75)3309

こども読み聞かせ会(読み聞かせの会ポケット)

- 7月11日(土)・25日(土) 午後2時
- おひざにだっこのおはなし広場(お話の会ラ・ポム)
- 7月15日(水) 午前11時

■ tette動画を配信中

事業名・内容	おすすめ動画
tetteスクールオンライン エクササイズや料理などを楽しく学べる講座	●楽しく簡単リンパマッサージ ●マスクによるお肌のトラブル対策 ●物語ボックス巡り
おうちでできるtetteスクールファミリー 家族で楽しめる運動や工作、お菓子作りなど	オリジナルメッセージカードで気持ちを伝えよう
こどもセンターからのおくりもの 人形劇や工作、昔の遊び、体操など	おおきなかぶ(人形劇)



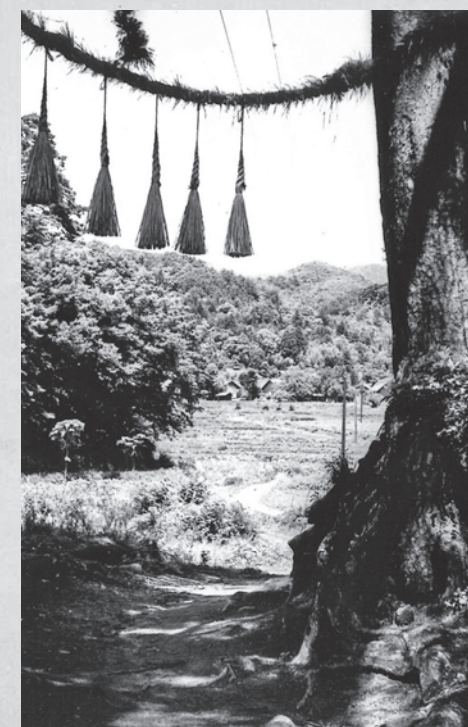
おおきなかぶ(人形劇)

事前申込や有料のイベントもありますので、詳しくは各施設へお問い合わせください。

ふるさとの遺産

須賀川アルバム No.311
- 昭和の記録写真から -

道切り (昭和40年代前半)



疫病神から集落を守る「道切り」

薄暗い山道を抜け、初夏の強い日差しが降り注ぐ田畑に差し掛かるところで、道を横切るように太いしめ縄が張られています。埋平の集落に通じる道に設けられた「道切り」です。

博物館 ☎(75)3239

この写真では見えませんが、しめ縄を渡す木の片方には1メートルほどの大きな草鞋も下げておくそうです。集落に疫病神が入ってくるのを防ぐためのもので、大きな草鞋を見た疫病神は、驚いて引き返すのだといいます。

集落の境目では、はしかや天然痘といった病気はもちろんだ、凶作や田畑の虫など、様々な悪いものから村を守るための儀礼が古くから行われてきました。儀礼に科学的な根拠がなくとも、良いものも悪いものも道を通って入ってくるという考え方は真理といえます。